

記入上の注意(ページ下部)をご覧の上、黄色いセルを記載してください。

成果検証報告書

ソフト事業のみ ハード事業を含む

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和5年度

市町村名	所沢市					
提案事業名	「(仮称)ところざわアートのミライ」開催事業					
事業期間	令和4年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 本事業に対する満足度					
	(成果検証の具体的な方法) 各会場にて来場者にアンケートを実施					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A
	従前値 (年月時点)		目標値 (5年3月時点)	満足度(満足・やや満足)80%以上	実績値 (5年3月時点)	満足度(満足・やや満足)94.9%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		アンケート集計結果(満足度)を市HPにて公表				

【事業効果の整理・原因分析】

令和5年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 「(仮称)ところざわアートのミライ」開催事業	○	現代アートに普段あまり馴染みの無い人や子供にも楽しんでもらえるよう、わかりやすい作品解説の設置や子供用鑑賞ガイドを配布したほか、ところざわグッズがもらえるスタンプラリーや作家によるワークショップを実施したことが効果的だったと考えられる。
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	集客性の高い所沢駅構内を含む駅周辺会場にて同時開催したことにより、展覧会を目的とした人だけでなく、偶然立ち寄った人など多くの人々が気軽にアートに親しむ機会を創出できた。
実施事業について 成果が不十分である点	本展覧会はグランエミオ所沢イベントスペース、所沢駅構内、所沢駅東口市民ギャラリーの3会場にて同時開催したが、駅構内の作品がどこにあるのかわかりにくいといった意見があった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	今後も多くの人々が気軽にアートに親しめる機会を様々な形で提供できるよう検討していく。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない